

売上高

1,483億円 前期比 **2.0%増**

引き続き後発医薬品使用促進策の普及・浸透によるマイナス影響は想定されるものの、「グラクティブ錠」「リカルボン錠」「リバスタッチパッチ」など主要新製品の売上伸長を見込んでいます。また8月に新発売しました「オレンシア皮下注」も売上に寄与することから、通期の売上高は前期比29億円(2.0%)増の1,483億円を予想しています。

営業利益

279億円 前期比 **12.6%減**

主要新製品(導入品)の売上伸長に伴う売上原価の増加と、開発ステージの進展やライセンス費用の増加、円安の影響などによる研究開発費の増加が見込まれます。また、その他の販売費及び一般管理費もコンピュータ関連費用などにより増加する見込みであり、通期の営業利益は前期比40億円(12.6%)減の279億円を予想しています。

経常利益

290億円 前期比 **14.6%減**

営業外収益の減少と営業外費用の増加が見込まれることから、通期の経常利益は前期比50億円(14.6%)減の290億円を予想しています。

当期純利益

204億円 前期比 **15.4%減**

税金費用は減少するものの、平成25年3月期に計上した投資有価証券売却益を今期は見込んでいないことなどにより、通期の当期純利益は前期比37億円(15.4%)減の204億円を予想しています。